

七高SSH通信

R2・9・23
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第6号

～マリンサイエンス～

9月8日（火）～10日（木）にかけて、鳳珠郡能登町小木の金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設と七尾高校において1年生理科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を行うことができました。海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた班に景品としてサクラ貝の標本が授与されました。昨年に続き今年も2班が選ばれました。残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、宿泊を伴わない研修となりましたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。

なお、発表会を能登町立松波中学校の生徒と金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設の方たちもリモートで参観しました。



おめでとう
ございます **最優秀賞**



「生きた化石って本当に動くの？」 「ほくナマコ!! O色の光大好き♡
あたしもあたしも」



- ・ヒトデがヒトの飯を食う!?
- ・ヒトデんぐりがえし
- ・カニのかくれんぼ
- ・Heat Day には塩分を
- ・ウニの神秘に迫る
- ・私ヤドカリ宿かります。
- ・生きた化石って本当に動くの？
- ・ほくナマコ!! O色の光大好き♡

あたしもあたしも

研究テーマ一覧

生徒の感想

○マリンサイエンスで一番勉強になったと思うことは、探究の楽しさを知ることができたことです。仲間と協力して実験を試行錯誤するのはとてもやりがいがありました。難しいと感じたことはやはり対象が生物なので、生物のペースに合わせるが大変だったことです。

○マリンサイエンスでは多くのことを体験して学ぶことができました。実験するだけなら簡単そうに見えても、どのような実験をしたらいいか、どのような条件で行うのか、どのような道具が必要なのかを、一から自分たちで考えることはすごく難しいなと思いました。

○マリンサイエンスで特に印象に残ったことは、自分たちで考えた研究を実際に行って結果から考察するという楽しさです。

○研究するときは広く浅くというよりは、狭く深く研究する方が確実に芯のある結果を得ることができると思った。また、全てを自分たちで考えるのではなく、ある程度は調べて発展させると研究のときに方向が定まり、深い研究ができると思った。

○マリンサイエンスを通じて、答えのないことを自分たちの知識と経験だけで答えを出すことの難しさを実感することができました。

